

2023年度の事業報告書
2023年7月1日から2024年6月30日まで

特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい

1 事業の成果

▼生命と自立を支える事業：

- ごはん処「おかえり」に50万円の「わかちあい」寄付を実施。(2023年10月)
- 「モヨ・チルドレン・センター」に50万円の「わかちあい」寄付を実施。(2023年10月)
- 「パレスチナ子どものキャンペーン」に50万円のわかちあい、寄付を実施。(2023年10月)
- ガザ緊急支援：186,000円を「パレスチナ子どものキャンペーン」に「わかちあい」寄付。(2023年12月)
- 「使途指定寄付」として、ごはん処「おかえり」応援プロジェクトを実施。(2023年11月～2024年4月)
寄せられた寄付の総額2,397,531円を100%全額「わかちあい」寄付した。(2024年5月)
(※集約後に寄せられたおかえりへの寄付10万円を5月に追加で寄付)
- 「アハリー・アラブ病院を支援する会」に50万円の「わかちあい」寄付を実施。(2024年2月)
- 「パルシクのガザ緊急支援」に50万円の「わかちあい」寄付を実施。(2024年2月)

2023年度の「わかちあい」の総額は5,183,531円になった

□事務所を拠点に「わかちあい」を広げる活動

- ・フードドライブ収集拠点（フードバンク京都と連携、ご家庭等の余剰食品を持ち寄り、必要としている人に届ける取り組み）
- ・2023年11月にわかちあいミニバザーを2回、2024年4月、6月に似顔絵マルシェを開催。

▼情報などの事業：

通信発行、メルマガ、ホームページなどを通じて、これまでご縁のあった方々をゆるやかにつないだ。寄付先現場へのボランティアや現場のお話を聞く場を持ち、寄付先の現場からの情報を発信した。

▼全体として：発足から17年余の寄付の総額は 44,727,703円になった。(2024年6月末現在)

小さな庶民の気持ちを集めて、一人では出来ない額の寄付（わかちあい）をすることが出来た。国内外の様々な現場に庶民の気持ちを届け、役立つことができた。昨春移転した事務所を拠点に、11月に「わかちあいミニバザー」4月・6月に「似顔絵マルシェ」を開催した。「わかちあい」を広げると同時に、共感する方々とのふれあいやつながり、交流の場となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
情報などの交流を促進する事業	ウェブサイト、ブログ等を通じて、困った時はお互い様の輪を広げる情報発信、交流を図る。通信（年2回）発行。	通年	法人事務所等	15人	不特定多数
生命と自立を支える事業	▼3団体に合計150万円を寄付 ○ごはん処・おかえりに50万円 ○モヨ・チルドレン・センターに50万円 ○パレスチナ子どものキャンペーンに50万円	2023 10.30	法人事務所等	15人	大阪・豊中市でしんどい状況におかれている子どもや高齢者 アフリカ・ケニアのストリートチルドレン
	▼ガザ緊急支援募金を寄付186,000円	2023.12.7	法人事務所	10人	パレスチナ・ガザ地区の人々
	▼2団体に合計100万円を寄付 ○アハリ・アラブ病院を支援する会に50万円 ○パルシク（ガザ緊急支援）に50万円	2024 2.26	法人事務所等	10人	パレスチナ・ガザ地区の人々
	▼第3回・使途指定寄付（11月～4月） ごはん処・おかえり応援プロジェクト 総額 2,497,531円を寄付	2024 5.8	法人事務所等	10人	大阪・豊中市でしんどい状況におかれている子どもや高齢者

◆活動日誌 (2023年7月～2024年6月末)

- 7月25日 ドネ通信30号発送 (会員更新のお願い)
～総会に向けての事業報告書、会計報告書の作成～
- 8月5日 ドネで建て替えを応援した「山王こどもセンター開所式」(立川)
- 8月26日 通常総会 理事会** ～年度末文書の報告・承認、他～
- 9月10日 ごはん処・おかえり 訪問
- 10月28日 ドネ会 (拡大理事会) ～寄付先選定委員会～他**
モヨチルドレンセンター、ごはん処おかえり、パレスチナ子どものキャンペーンへの寄付を決定。
第3回使途指定寄付、ごはん処・おかえり応援プロジェクトの実施を決定
～呼びかけチラシの作成、プロジェクトの告知広報をスタート11月～



- 11月5日 わかちあいミニバザー (1回目) 事務所にて開催
- 11月19日 わかちあいミニバザー (2回目) 事務所にて開催
- 12月3日 笑顔つながろう会、守田敏也さん講演会 (有志参加)
- 12月23日 ごはん処、おかえり 冬休みの無料弁当配布 (有志参加)
- 12月23日 ドネ会 (納会)** ～この1年のお疲れ様～
- 1月22日 ドネ通信31号発送 (対象者には寄付金受領証明書を同封)
- 2月3日 笑顔マルシェ (避難ママたち主催) ブース参加。
能登被災地に心を寄せて。(向島MJにて)
- 2月11日 長島愛生園バスツアー (有志6名参加)

2月24日 ドネ会 ～寄付先選定委員会～他

- アハリアラブ病院を支援する会、パルシック、2団体にガザ緊急支援の寄付を決定。
- 3月9日 3.11メモリアルキャンドルinむかいじま (有志参加)
- 4月16日 おかえり応援プロジェクト (淀屋橋チラシ配布)
- 4月21日 ごはん処、おかえり「こども縁日」ボランティア参加 (8人)
- 4月27-28日 似顔絵マルシェ (事務所にて開催)
- 4月末日 ～おかえり応援プロジェクト最終集約～ わかちあい寄付を実施 (5/8送金)
- 6月8-9日 似顔絵マルシェ (事務所にて開催)
- 6月22日 ドネ会、～上野敏子さんを囲んでお話&交流会**



上野敏子さんを囲んでお話&交流会

※日常的にウェブサイトでの情報発信 (ドネの活動、寄付先からの情報等)、ブログ、メルマガ、交流掲示板での情報発信、情報共有、会員交流。運営掲示板での相談を実施。

2024年(令和6年)4月11日(木)

しんどい人を 支える人を 支えよう

大阪府豊中市の食堂「ごはん処、おかえり」は「しんどい人」を支えるために総菜は全部100円、子どもたちには無料で提供している。昨年からは物価高、運営が厳しくなる中、店を売却しようとしていたが、NPO法人が全国に寄付を募っていた。

おかえりにはホームレスやシングルマザーの支援をしていた店主の上野敏子さんが60が「おなかいっぱいになる場所を作りたい」と2019年にオープンした。

「コロナで価格が上がる前は全部100円、20歳以下は無料で提供。不登校の子どもやシングルマザー、中高年の独り暮らしの男性など、幅広い世代のお客さんが訪れる。『常連になつてくれた』『実はこんなこと困ってるねん...』と悩みを打ち明ける人がいる」と上野さん。相談をきっかけに公的機関の支援につなげる人もいたという。

店の運営は寄付や食材の寄贈が頼り。不足分は上野さんの持ち出しでやりくりしている。ただ、去年秋の状況の中で、昨秋からの物価高が大きな負担になっている。一握り物に使う食用油、味付けに欠かせない塩やしょうゆなどの調味料など、何もかもが上がりてしまったと話す。京都市のNPO法人「ドネ」のシンパ「わかちあい」は、上野さん

店内で料理をする上野敏子さん

物価高直撃「おなかいっぱい」共感

の活動を支援しようとした11月から寄付の呼びかけを始めた。わかちあいは昨年10月に設立し、寄付を集めては貧困問題に取り組む団体の海外の募金活動などに使ってきた。件数も多い立川市のお客さんは「100円のおもたせたいに食べられる社会にしたい」と取り組む上野さんを応援した「100円」が、上野さんは「寄付はもう必要ないが、支援しようと思ってた気持ちは何よりうれしかった」と話す。

寄付の宛先は、郵便振替口座00940191000064「ドネ」。「おかえり」を名刺、連絡先を明記したホームレスからクレジットカードを利用して寄付も可能。4月末で集約し、金額をおかえりに寄付する。(田中由紀)

こども縁日やるよ 21日庄内神社

おかえりでは21日午前10時から庄内神社(豊中市庄内幸町6丁目)で「こども縁日」を開く。スーパースポーツや風船アート、紙芝居などの催しやフランクフルト、焼き菓子などの販売が出店する。午後1時からはビンゴ大会もある。

子どもは全て無料。子ども向けのお弁当を無料で配布する。雨天決行。問い合わせは上野さん(060・5319・1368)へ。